



聖アンデレ教会教会報

# さかえ

第324号  
2011年11月27日発行

〒105-0011

東京都港区芝公園3-6-18

日本聖公会 聖アンデレ教会

TEL 03-3431-2822

FAX 03-3434-5698

編集人 片岡 大造

発行人 管理牧師 主教 大畑喜道

3月の大震災以来、東京の繁華街の夜の明かりは随分と自粛されてきました。しかし大きな被害から9ヶ月が過ぎ、暮れの商戦に向かって、街も耀きを増しつつあります。東京タワーも今年は、新しいタワーに負けないようにと一際飾りつけも多くなっているような気がします。私たちは、震災に続く原発事故によって、この生活の陰で犠牲になっている多くの方々がいることを知らされました。夏以来、今まで教会のライトアップも自粛してきました。しかしアドベントになってライトアップをし始めました。勿論一般社会のように華やかなイルミネーションに輝いているわけではありません。しかし今まで真っ暗だった教会をライトアップして「ここに本当の耀きがある」「ここに本当の希望の光があるぞ」と、この世界に証ししていると感じます。今こそ私たちは「世界は闇に包まれ絶望してしまうことは無い」と宣言しなければならぬ時だと思えます。私たちはこの聖堂に招かれ、神の言葉に応答し、祈りました。ある時は叫び声を上げ、苦しみや悲しみの中にも福音の光を見出してきました。今回の震災で私たちは言葉を失いました。

主教 アンデレ 大畑喜道

## 教会が輝いている

何もかも一瞬に奪い去られた所に、神は本当におられるか。神は私たちにこの現実の中でも神をほめたたえよと命じておられるのか。復活の希望、光り輝くものなど何処に存在するのか。神の不在の思いが出てきました。そう思うことは神に反逆する悪魔の業の勝利を意味しています。聖書が証ししていることは、「私たちが絶望し、光を見失いそうになる時、神は私たちに一条の光を与えてくださった」という事実です。飼い葉おけの中にある小さな光、命を見なさい。神は決して見捨てることはない。いつも寄り添い、励まし続けてくださるのだから信じ続けなさい。この世の多くの人は「そんなことは馬鹿馬鹿しい」「こんな小さなものは何の役に立ちません」と言うでしょう。教会の光はこの世の光と比較したら到底叶わないように見えます。しかし私たちは降臨節の間、神のみ言葉を学び続けましょう。きっと私たちは、絶望から希望へ、闇から光へと転換し勝利することができることに気付きます。本当の光が何処にあるか、希望は何処にあるか、それをこの世界に宣言いたしましょう。さあ、その準備を始めましょう。

## 聖アンデレ教会 クリスマスのご案内

12月24日(土)

降誕前日

午後7時

晩禱(クリスマスキャロルと聖書日課の礼拝)

午後11時

第一聖餐式

12月25日(日)

降誕日

午前7時30分

第二聖餐式

午前10時30分

クリスマス大礼拝 引き続き祝会

午後2時

クリスマス子供と祝うユーカリスト

主のご降誕の喜びをともにお祝いいたしましょう!

## アンデレバザー

鈴木 茂



初めに、今年もアンデレバザーは天気に恵まれて、大盛況でした。当日にアンデレにこられたお客様、そして、バザーにスタッフとして参加して下さった、信徒・教友の皆様本当にありがとうございました。前日の深夜から早朝にかけての雨が心配で、当日は、早起きの苦手な私が、4時頃には目が覚めてしまいました。何とか朝には雨も上り、本当に感謝しました。この日にそなえて、8月から大先輩ら、多くの方が、仕分け・値付けとこの日のために、一丸となって準備してきました。一人でも多くの方に喜んでもらうためにも、晴れてくれて良かったです。当日の朝の挨拶は、雨が止んでよかったですね！でした。バザー名物の行列も例年同様の長さでした。



各売り場の賑わい、も例年通りでした。バザーを開催出来なくなったり、縮小を余儀なくせれたりする教会があると聞きます。今回のバザーの盛況ぶりを見ている限り、当教会では当分その心配はないようですが、どの教会でもバザーのよう

な、教会が一つになれるイベントが無くなる事は、非常に寂しい事だと思います。

東京教区は、この度の地震のさいに大畑主教の元で。迅速な対応がなされ多くの物資、支援金が東北教区に送られました。アンデレ教会でも、緊急支援金・春のジャズコンサートの売り上げ、東日本大震災支援金など既に¥4,000,000 余りを送らせて頂きました。今年のバザーは、東日本大震災の支援をメインテーマとして開催しました、奉献先のアジア学院も地震で建物などが、大きなダメージを受けましたが、被災地にボランティアスタッフを送っています。



またプラン・ジャパン、日本国際ボランティアセンター（JVC）なども、いち早く復興支援のために現地で働いています。アンデレのバザー会場にも、震災支援ブースが設けられ、関心を集めていました。今回のバザーの売り上げは例年通り全て、各奉献先に、送られます。尚、震災関係では、いっしょに歩こうプロジェクト、アジア学院、十三浜わかめ復活支援サポートなどに送りました。ありがとうございました。



## チャリティー・デイを開催

片岡 大造

東日本大震災支被災者支援活動は、広範囲にわたっている。被災者は、東北だけにおられるのではない。福島原発事故は、強制避難地域の近くにいる福島の人達に、特に若い母親やこどもに、私たちの想像できないような不安を与えた。その結果、数多くの方が広域避難者として東京にも避難されている。その中で「赤坂プリンスホテル」に避難していた約800人の方々に対して、カトリック麹町教会（イグナチオ）の人達と「とすねっと」（東京災害支援ネット）と言う、おもに東京に避難してくる方たちへの法律的事項を含む相談援助や情報提供、各種制度的支援へのための行政への働きかけ、支援物資提供のためのメーカー等への働きかけ等の活動を行っている弁護士達が、その支援に係わってきた。東京教区の有志によるボランティアグループ「聖公会東京311ボランティアグループ」も福島県磐城地区への支援活動を「とすねっと」と連携して行ってきた関係で、この支援の輪に加わった。この「赤坂プリンス」が6月末に閉鎖され、この方々は現在都営アパートや小規模のビジネスホテルでばらばらになって暮らしている。このため、「赤坂プリンス」では、厳しい環境ながらも形成されていたコミュニティーもばらばら分散した結果壊れてしまい、母親達は、精神的にも厳しい状況となっている。また、現在、生活必需品の不足、特にビジネスホテルなどでは食生活の厳しさ、子供の教育、養育環境の厳しさに悩まされる環境状況であるという。このような状況を少しでも緩和し、避難する方々に対する、交流の場の提供、必需品に対するミニバザー、精神的なリフレッシュ（母と子両方に）、などを目的に前記三者が協力して月一回のチャリティー・デイを開催してきた。

日本聖公会東京教区東日本被災者支援対策本部としても、11月3日（木・祝）に、このためのチャリティー・デイを、上記のメンバーとともに実施することとした。会場をアンデレ教会として、東京教区のすべての教会等に呼びかけた。その結果、東京教区の各教会が北から南か

ら小笠原の教会に至るまで、支援物資を届けていただいた。会場を引き受けたアンデレ教会の東日本大震災支援担当の方々が中心となって、東京にいる私たちが出来る支援として、何度も打ち合わせを重ねられた。30日にはオルバン教会信徒も合同で準備作業をした。



当日のプログラムは、炊きごみご飯やハンバーグ、各教会から料理持込、着付け～七五三、家族写真等撮影、バザー、子ども祝福式、クロネコヤマト、一升餅、礼拝、バザール、食事・ケーキ等提供、生活相談、医療相談、会場を設営してのこどもから大人までのリフレッシュプログラム、等であった。

心を込めて作られた食事の数々、そして事前、また当日のボランティアとして150人を越える方々、それらすべてのご協力、ご努力のお陰をもって、無事実行することができた。その賜物の豊かさにただ感謝あるのみです。

被災者の方々は大人、子供合わせて140人を超える避難者の方々が参加された。皆様から、「食事がおいしかった。」、「バザールの品物が多かった。」、「こどもの笑顔がいっぱいだった」等たくさんの喜びの声もいただき、当日は何か不思議に落ち着いた暖かい雰囲気の中で、様々なプログラムを皆さんに楽しんでいただくことができた。これひとえにボランティアの皆様お一人お一人の温かい気持ちの結果であったと思っている。

様々な状況の中で被災地以外に散らされた方々への支援も今後ますます大切な活動となる。わたしたち東京在住者も被災地への支援は勿論ですが、このような活動を少しでも継続的なものとして実施

してゆきたいと願っている。

どうかすべての支援活動のためにお祈りください。今回のような機会が次にいつ与えられるかは、今は分かりませんが、その際には是非今回にもまさるご協力を頂ければと思います。アンデレ教会の皆様にあらためて心より厚く御礼申し上げます。

いっしょに協力して頂いたのは、日本聖公会東京教区各教会・礼拝堂／足湯隊／アロマ&タッチ／NPO 法人自立生活サポートセンター もやい こもれびコーヒー／NPO 法人 ぶどうのいえ／オランダ王国大使館／カパティラン／木田新一／きらきら星ネット／社会福祉法人 興望館／社会福祉法人 賛育会／聖公会東京311 ボランティアチーム／東京災害支援ネット とすねっと／日本聖公会 GFS／日本ロリアル／ボーイスカウト港第14団／ニールズヤード／ヤマト運輸／いっしょに歩こうプロジェクト本部です。

(五十音順敬称略)

## ■こどもの祝福

今年の子ども祝福式は11月13日に二つのお礼拝で行われました。子どもと祝うユーカーリストでは20名の子供が、また10時30分の聖餐式ではガールスカウト、オルバン教会の日曜学校も一緒に25名の子供たちが祝福を受けました。式には出られなかったボーイスカウトの子供たち23名にも千歳飴が贈られ、皆大喜びでした。



## ■ボーイスカウト上進・入隊式

ボーイスカウトでは毎年秋(11月)にビーバー隊、カブ隊、ボーイ隊、ベンチャー隊からそれぞれ上の隊に上進します。その際必ず聖堂にて神様の前で「や

くそく」・「ちかい」を立てます。それが上進・入隊式です。笹森先生にお祈りしていただき、礼拝形式でおごそかに行われます。今年はビーバー隊に4名、カブ隊に2名、ボーイ隊3名、ベンチャー隊1名のスカウトが入隊しました。おかげさまでボースカウトにも多くの子供たち入隊し、スカウトは31名となりました。どうぞこれからも暖かいご支援をお願いいたします。



## ■コイノニア

《堅信》

10月9日

クララ北村真理子さん

アンセルム北村耕太さん

アンナ北村薫さん

御兄弟で聖アンデレ主教座聖堂にて堅信を受領されました

《転会入籍》

トマス・アクイナス牧野兼三さん

京都聖三一教会より

転会入籍されました

《逝去》

マリア星野伸子さんが10月11日逝去されました。10月18日聖アンデレ教会にて葬送式が行われました

アンナ安原三紀子さんが10月12日逝去されました。10月15日ご自宅にて葬送式が行われました

靈魂の平安とご遺族への主の慰めをお祈りいたします

## ■編集後記

様々な出来事があった一年ですが、暦はすでに降臨節となり、いよいよ今年最後のイベント「クリスマス」に向け、みんな大忙しです。来年も新たな編集委員のもと様々な活動や行事を、楽しくお伝え出来るように頑張りたいと思います。